

マレーシア国 水銀含有廃棄物適正処理普及化促進事業 野村興産株式会社

マレーシア国の開発ニーズ

- リサイクルや環境保全の推進にあたり、廃蛍光灯及び廃電池を中心とした水銀含有廃棄物の処理、リサイクル先の確保

普及促進事業の内容

- 水銀含有廃棄物の実態調査
- 水俣条約に関する関係者の理解促進
- 中間処理が現地経済・社会・環境にもたらす便益に関する啓蒙
- 地球環境ファシリティ(GEF)による 多国間協力の枠組みと本事業の調整
- 検査・認可等に関わる制度づくり支援を主体とした研修の実施
- 環境測定方法に関する教育訓練の実施

提案企業の技術・製品



製品・技術名

廃蛍光灯・廃電池を中心とする水銀含有廃棄物中間処理技術

事業のポイント

- ・大阪市と公益財団法人地球環境センターと連携し、効率的な収集ノウハウを移転
- ・日本が主導した水俣条約加盟国を技術面で後押し

マレーシア国側に期待される成果

- 水俣条約が求める水銀含有廃棄物処理に関する能力及び仕組みの形成
- 3Rの推進と適正処理技術普及による環境改善

日本企業側に期待される成果

現状

- マレーシア国ペナン州の強い要望により、現地企業との水銀含有廃棄物中間処理技術導入に向けた覚書を締結

今後

- ペナン州において水銀含有廃棄物処理が実施される
- マレーシア全土への展開及びGEF案件形成を通じASEAN諸国への展開も視野に入れる